テラヤマワールド
TERAYAMA WORLD

2026
11.28（土），
29（日）
12:00開場
13:30上映開始

三沢ムーンリバー
青森県三沢市中央町1-7-12
ホテルトラストイン 1F



スポット展「70's イラン革命前夜の蜃気楼 ― 演劇実験室『天井桟敷』が参加した幻の芸術祭」開催記念

イラン映画 上映会

テラヤマ・ワールド Presents

イラン南部シラーズ市のサライ・モシール（市場）にて舞台設営をする寺山　1976年8月

スポット展「70's イラン革命前夜の蜃気楼 ―
演劇実験室『天井桟敷』が参加した幻の芸術祭」開催記念

イラン映画上映会

テラヤマ・ワールド Presents

なぜ今、イラン映画上映会なのか

“寺山監督作品”以外の映画特集上映を行うのは初の試みだ。企画の発端は、2026年2月末からつづく米・イスラエルによるイランへの軍事攻撃。次に開幕する予定だった企画展の題材を急きょ変更し、70年代に二度、寺山と彼の劇団「天井桟敷」が演劇をしに渡ったイランをテーマに展示を行うことにした。

天井桟敷が1973年・76年、イラン王室主催のシラーズ芸術祭でパフォーマンスしたという事実は、決して新発見ではない。寺山の活動年譜にも書かれている。だが、これまでその経緯や公演された作品について、取り立てて語られることはなかった。最大の要因は、われわれがイランという国に対して持っている心理的距離だろう。実際、古代文明ペルシャから、現在のイラン・イスラム共和国に至るまでの間を埋めるものを私たちは何も知らない。

今年は、1976年の天井桟敷2回目のイラン公演からちょうど半世紀という節目である。寺山が最後に訪れてから2年半後、79年2月の革命により、西洋化を目指した王朝は打倒され今に至る。寺山が見たイラン、イランが見た寺山は、もういない。

だが、寺山を起点にこの国を知ろうとすればするほど、脈々と流れ続けるペルシャの調べを感じる。見知らぬはずの「詩と薔薇」のイランが、不思議と懐かしさをもって語りかけてくる。ペルシャ語は分からなくても、その饒舌さ、懐の深さが伝わってくる。

そしてまた、私たちにも通じる人間の狡さや断ち切るべきしがらみも、同時に見えてくる。遠く離れた日本とイランで抱える社会課題には多くの共通項がある。

この上映会の6作品を通して、壁に立ち向かいながら明日を諦めない魂、8,000kmの海の向こうのあなたに出会えるはずだ。

寺山修司記念館学芸員　広瀬



寺山修司（1935～1983）

1935年12月10日、青森県生まれ。18歳で短歌研究新人賞特選を受賞し、歌壇に鮮烈にデビュー。20代前半で売れっ子シナリオライターとなる。67年には劇団、演劇実験室「天井桟敷」を結成、海外で高い評価を得る。詩、俳句、短歌、戯曲、映画、競馬・スポーツエッセイ、作詞、小説、評論など、その多彩な仕事から「職業寺山修司」と称される。1983年5月4日47歳で急逝。2027年、寺山修司記念館が開館30年を迎える。

撮影：有田泰而

11.28［土］



上映1-1 13:30~

メークアップ・アーティスト

監督：ジャファール・ナジャフィ

2021年／76分／ドキュメンタリー
製作:シャハーブ・タバタバイ、フェレイデューン・ナジャフィ
配給:山形国際ドキュメンタリー映画祭

メーク学校進学を条件に結婚したミーナだが、現実は山岳遊牧と育児の日々。夢のため家族を説得しようと奮闘する中、夫婦のままならなさや女の生きづらさが、美しく切なく迫りくる。

・2021年 山形国際ドキュメンタリー映画祭 Award of Excellence
・2021年 IDFA FIPRESCI賞
・2021年 シネマ・ヴェリテ国際ドキュメンタリー映画祭 長編国際部門 最優秀作品



上映1-2 15:10~

手に魂を込め、歩いてみれば

監督、撮影、編集：セピデ・ファルシ
撮影（ガザ）：ファトマ・ハッスーナ



2025年／113分／ドキュメンタリー
製作:Reves d'Eau Productions=24images
配給:ユナイテッドピープル

廃墟のガザで撮影を続ける若きパレスチナ人報道写真家ファトマと、故郷を失ったイラン人監督セピデ・ファルシ。25歳のファトマが砲弾に倒れるまでの1年間、2人がビデオ通話で紡いだ不屈の魂の記録。



上映1-3 17:25~

ソニータ

監督：ロクサレ・ガエム・マガミ



2015年／91分／ドキュメンタリー
制作:TAG/TRAUM
配給:ユナイテッドピープル

16歳での結婚を強いられる難民の少女ソニータの夢は有名なラッパーになること。未来をあきらめない彼女は、自らの人生を歌い運命を切り拓いていく。誰もがソニータにエールを送らずにはいられない！

・サンダンス映画祭2016 ワールドシネマ・ドキュメンタリー部門 グランプリ&観客賞

11.29［日］

上映2-1

13:30~

少女は夜明けに夢をみる

監督：メヘルダード・オスコウイ



2019年／76分／ドキュメンタリー
製作:Oskouei Film Production　配給:ノンデライコ

強盗や殺人、売春などの罪に問われる少女たちが集う更生施設。過酷な貧困や虐待を生き延び、行き場をなくした彼女たちの姿に、私たちは人間の根源的痛みを見る。それでも、愛を求めて生きていく。

・第66回ベルリン国際映画祭アムネスティ国際映画賞



上映2-2 15:10~

クローズ・アップ

監督・脚本・編集：アッバス・キアロスタミ



1990年／98分　配給:Celluloid Dreams

映画監督になりすました詐欺事件の公判と、当事者本人による再現映像を撮影。虚構と現実を多層に重ねながら、逮捕された青年の心の奥を精巧に映し出す。巨匠ゴダールに「映画はグリフィスに始まりキアロスタミで終わる」と言わしめたキアロスタミ最高傑作。

上映2-3

17:15~

花束

監督：サヘル・ローズ





2023年／94分　製作:ロックウェルアイズ　配給:hanataba project

思春期を養護施設で過ごした少年少女の忘れ難い記憶をたどる。80年代のイラン・イラク戦争で孤児になり、イランの保護施設にいた経験があるサヘル・ローズ監督。「すべての子どもが笑顔でいられる世界」へ、祈りを込めて撮ったドキュメンタリーでありドラマでもある。初監督作品。

・2025年度　全国映連賞　特別賞

スポット展「70's イラン革命前夜の蜃気楼 ― 演劇実験室『天井桟敷』が参加した幻の芸術祭」開催記念

イラン映画 上映会

テラヤマ・ワールド Presents

11.28［土］

区分	作品名	開始時間	終了時間
開場	チケット販売／飲食販売	12:00	13:30
上映1-1	メークアップ・アーティスト	13:30	14:46
幕間	チケット販売／飲食販売	14:46	15:10
上映1-2	手に魂を込め、歩いてみれば	15:10	17:03
幕間	チケット販売／飲食販売	17:03	17:25
上映1-3	ソニータ	17:25	18:56

11.29［日］

区分	作品名	開始時間	終了時間
開場	チケット販売／飲食販売	12:00	13:30
上映2-1	少女は夜明けに夢をみる	13:30	14:46
幕間	チケット販売／飲食販売	14:46	15:10
上映2-2	クローズ・アップ	15:10	16:48
幕間	チケット販売／飲食販売	16:48	17:15
上映2-3	花束	17:15	18:49

主催：三沢市寺山修司記念館 / テラヤマ・ワールド　共催：寺山修司五月会　協賛：三沢市
上映キュレーション：上平美紀（intermission_8）

■チケット料金［全席自由 入れ替え制］

1作品

一般 1,000円
U25（25歳以下）・学割 500円
※当日、年齢確認ができる身分証明書・学生証の呈示

通し券（全6作品）

特典 ①上映会パンフレット（当日配布）
②寺山修司記念館入館券（1回分）

一般 5,000円
U25（25歳以下）・学割 2,500円
※当日、年齢確認ができる身分証明書・学生証の呈示

■先行チケット販売所

三沢市寺山修司記念館
三沢市公会堂
三沢ムーンリバー（会場）
※当日販売は会場の三沢ムーンリバーのみ

■会場アクセス

三沢ムーンリバー
青森県三沢市中央町1-7-12
ホテルトラストイン 1F

●電車・路線バス
「青い森鉄道三沢駅三沢駅」から乗車し、「上下水道庁舎前」または「市役所前」バス停で下車（乗車時間約7分）。バス停から徒歩約200m。

●飛行機・空港路線バス
「三沢空港前」から乗車し、「市役所前」バス停で下車（乗車時間約8分）。バス停から徒歩約200m。

関連展示企画

寺山修司生誕90年記念 スポット展

70'sイラン革命前夜の蜃気楼
― 演劇実験室「天井桟敷」が参加した幻の芸術祭

開催中～2026.11.29（日）　寺山修司記念館エキジビットホール
青森県三沢市大字三沢字淋代平116-2955

開館時間＝9:00～17:00（入館は16:30まで）　休館日＝月曜（祝日の場合は翌日）　入館料＝大人個人700円　学生500円　高校生以下U18s 無料
※障がい者手帳呈示で、本人と介護者1名無料　※市内居住者は身分証呈示で150円割引　※上映会通し券呈示で無料

お問合せ　三沢市寺山修司記念館　0176-59-3434／shuji.terayama.museum@gmail.com
電話・メールで上映会のチケット予約が可能です。メールの場合、件名に「上映会申込」、本文に氏名（複数名の場合は代表者のみ）・チケット枚数・作品名をご記入ください。